

総務省 経験者採用試験 (係長級(技術))

～将来の各総合通信局等における幹部人材を募集～



国家公務員採用情報NAVI

○ 受験資格

試験年度の4月1日において、高等学校を卒業した日等から起算して12年を経過した方で、高等学校、高等専門学校、専門学校(専門課程、高等課程)、大学、大学院などで電気、電子、通信、情報工学、機械、物理又は化学に関する課程(※)を修めて卒業又は修了した方

※医・薬・農・土木等の理系課程を含みます。詳細な受験資格は人事院ホームページ「国家公務員採用情報NAVI」の受験案内をご覧ください。

○ 求める人材

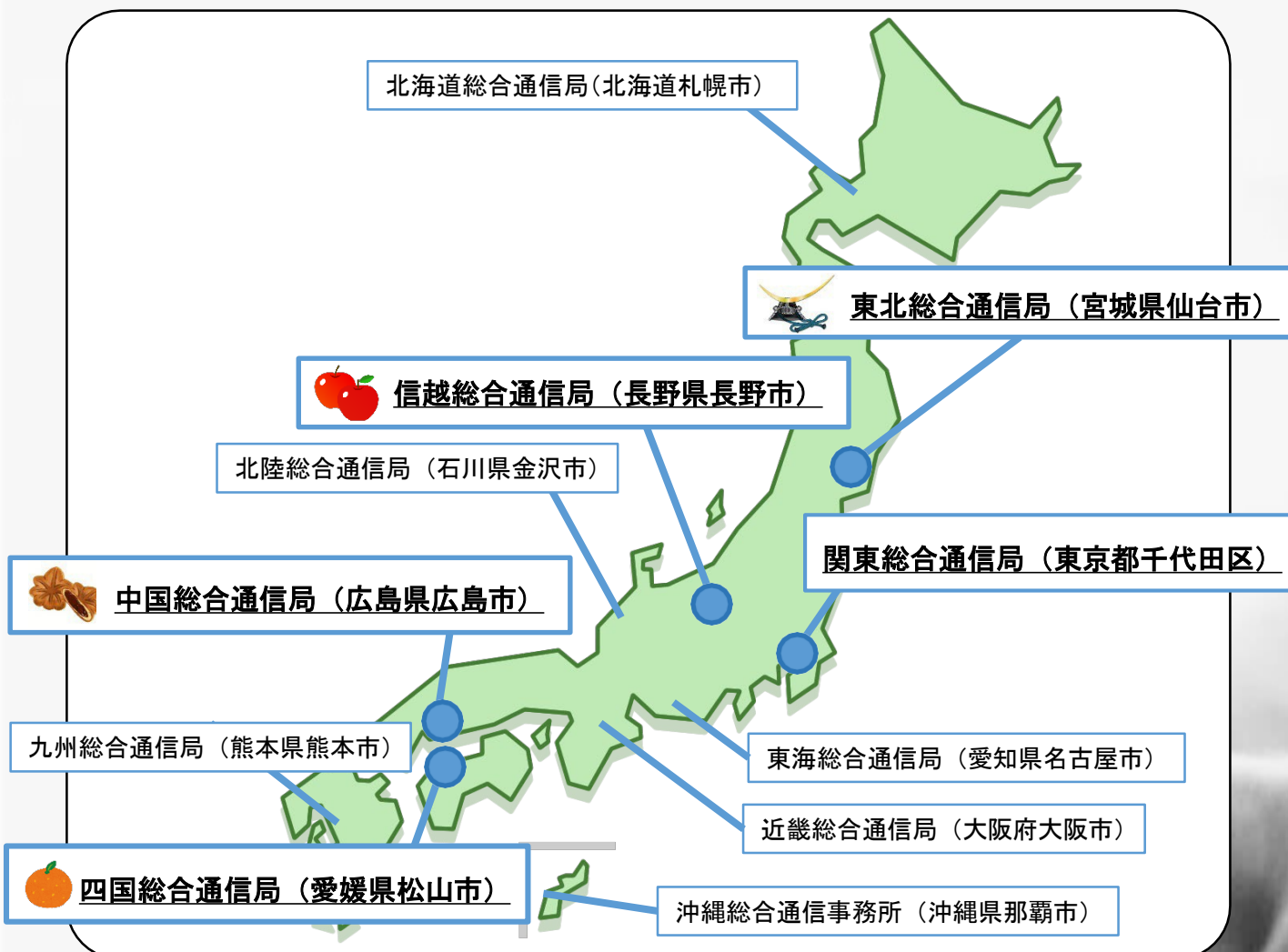
- ・社会人として培った知識や経験を、即戦力として活かしていただける方
- ・情報通信分野(ネットワーク・セキュリティ・電波等)の知識・経験を有する方
- ・情報通信行政への強い関心がある方

1 組織概要

○ 各総合通信局等の組織と業務

各総合通信局及び沖縄総合通信事務所は、総務省の地方支分部局として全国11の地域ごとに設置されています。主に、電波、電気通信の規律・振興、地方における情報化の推進など、「情報通信行政に関する施策の実施機関」として、地方公共団体や地域の企業とともに業務を行っています。

採用後は、本人の希望等から、11の局所のいずれかに配属となり、係長級職員として業務の最前線でご活躍いただきます。また、各総合通信局等の幹部職員候補として、情報通信の様々な分野で業務経験を積んでいただきます。



総合通信局等の主な業務

- 安心して快適な情報通信サービスの実現
- 魅力ある放送サービスの普及促進
- ICTを利活用した地域づくりの推進
- 電波の利用ルールへの周知、遵守状況の監視
- 便利で使いやすい信書便サービスの実現
- 電波の有効活用に向けた取り組み



※詳細は、総務省HPをご覧ください。

2 給与・福利厚生等

○ 給与

採用時の俸給月額、採用者の経験年数と同程度の経験年数を有する国家公務員採用一般職試験(大卒程度試験)又は国家公務員採用Ⅱ種試験により採用された職員が受ける俸給月額との均衡を考慮して決定されます。

(参考)国家公務員試験一般職試験(大卒程度試験)による採用後8年の経験年数を有する職員の標準的な俸給月額 ……241,900円

上記のほか、次のような諸手当が支給されます。

地域手当 (東京都特別区内に勤務する場合)俸給等の100分の20

扶養手当 扶養親族のある者に、子月額10,000円等

住居手当 借家に住んでいる者等に、月額最高28,000円交

通勤手当 通機関を利用している者等に、定期券相当額
1箇月あたり最高55,000円

期末手当・勤勉手当(いわゆるボーナス)：

1年間に俸給等の約4.40月分

※この額は、令和5年4月1日現在の「一般職の職員の給与に関する法律」の規定によるものです。最新の情報は人事院ホームページ「国家公務員採用情報NAVI」から、受験される年度の受験案内をご覧ください。

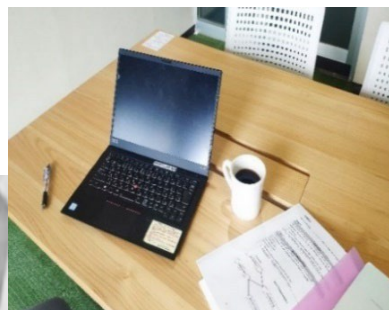
○ 勤務時間・休暇・職場環境等

勤務時間は原則1日7時間45分で、土・日曜日及び祝日等の休日は休みです。

休暇は、年次休暇(年20日(4月1日採用の場合、採用の年は15日))。残日数は20日を限度として翌年に繰越し)の他、病気休暇、特別休暇(夏季・結婚・出産・忌引・ボランティア等)及び介護休暇などがあります。

また、総務省では全ての職員が仕事とプライベート双方の満足度を高めつつ、職員一人ひとりの能力を最大限発揮できる職場環境の整備に取り組んでいます。

例えば、「テレワークの推進省庁」として、テレワークを積極的に利用できる環境があるほか、多数の職員が育児休業制度等を活用しており、ワークライフバランスの取れた働き方を実現しています。



3 先輩職員の声

○ 先輩職員インタビュー

総務省 国際戦略局 技術政策課 調査係長

新城 梨華子 (令和2年入省)

国家公務員への転職動機を教えてください

自分の人生を改めて考えたときに、人の役に立つ仕事が出来たらという原点に立ち返り、自分の関心があり、かつ、役に立つとはどういうことかを整理しました。その上で、現在のみならずその先においても、社会の一助となれる国家公務員に転職を決めました。実際に現在は、Beyond 5G(いわゆる 6G)の研究開発と早期の社会実装の支援に係る業務を担当しており、非常に充実した日々を送っています。

転職を目指す方へのメッセージ

私が経験者採用試験を受験した頃は、新型コロナウイルスは存在せず、その後生活様式がこれほどまでに大きく変わるとは想定していませんでした。コロナ禍に伴い、仕事のあり方が大きく見直される中思ったことは、興味があるのならば恐れずに挑戦しようということです。業種による考え方や仕事の仕方の違いは確かに存在しますが、私自身はその違いを非常に面白く感じています。国家公務員だからこそ携われる業務も多く、やりがいのある仕事です。転職を視野に入れているのであれば、是非まずは業務説明会等に参加してみてください。



Profile:

事務職やサービス業を経て、令和2年4月1日に東北総合通信局情報通信部情報通信連携推進課に配属、令和4年4月1日より現職。

総務省 関東総合通信局 情報通信振興課 企画監理官

大岩 朝洋 (令和2年入省)

国家公務員の魅力を教えてください

私は、国家として大きなスケールで、国策として進める制度作りができることが、一番の魅力だと感じます。全体の奉仕者として何ができるのかを考えるのは、民間企業にはない部分だと思います。また、民間企業で商品や設備を作った場合に潤う人は一部かもしれませんが、公務員が与える影響力というのはものすごく大きいので、そこも違うのではないかと思います。

転職を目指す方へのメッセージ

国家公務員は、民間企業ではできないスケールの大きい仕事ができます。今、私が行っているのは許認可ですが、それも民間企業ではできない仕事です。省庁にいと様々な情報が入ってくることも、技術系にとっては魅力です。民間企業の経験を直接活かせなくても、働き方は活かしていけます。もちろん飛び込んだ後にも自己研鑽は続けなくてははいけませんが、やりがいある仕事も多く、国家公務員の仕事はカッコいい仕事だと思います。みなさん安心して飛び込んでほしいです。



Profile:

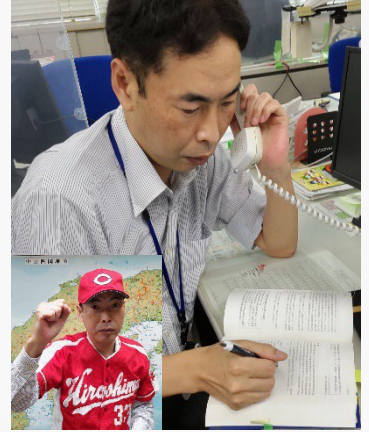
鉄道会社、地方公共団体での勤務を経て、令和2年4月1日に関東総合通信局放送課に配属、令和4年4月1日より現職。

総務省 中国総合通信局 電気通信事業課 企画監理官

御領 敏郎(令和3年入省)

業務のやりがいを教えてください

現在従事している業務では、安心して快適な情報通信サービスを実現するために、電気通信事業者と日々やりとりを行っています。その際は、法令を調べたり、通信設備構成を理解する必要があり、決して簡単な業務ではありませんが、業務を通して社会に貢献していることを大きく実感でき、更に自分自身の成長を感じることもできます。それが、私のやりがいです。



転職を目指す方へのメッセージ

民間企業も国家公務員も「社会に貢献する」という目的は同じですが、アプローチが大きく異なります。民間企業で経験できなかった未知の世界に挑戦してみませんか。とてもやりがいのある仕事です。
また、配属直後だけは職場でひとりぼっちかもしれませんが、あっという間に仲間が増えます。私の場合、配属直後の週末には職場の草野球チームに楽しく練習参加していました。新しい仲間と親交を深めるのも楽しみの1つです。来年、お会いできることを楽しみにしています。

Profile:

通信機器メーカーでの製品開発経験を経て、令和3年4月1日より現職。

総務省情報流通行政局地域通信振興課 主査

宮島 高德(令和2年入省)

採用された後はどんな生活になるの

経験者採用ということで、採用後すぐに慣れない現場に放り出されるようなイメージがあるかも知れませんが、そんなことはありませんので安心して下さい(笑)。自分の場合も、先輩方の丁寧な指導・研修等がありましたので、うまく業務に入っていました。
仕事内容については、当然、忙しいときもありますが、テレワークを積極的に利用できる環境があるほか、周りでも多数の職員が育児休業制度等を活用できていたり、意外な印象かも知れませんが、ワークライフバランスは充実しており、仕事とプライベートの両立ができる生活だといえます。



転職を目指す方へのメッセージ

長い目で見た場合、やはり「どこに勤めているか？」ではなく「どんな仕事をしているか？」という方が重要かと思います。そういった意味でも、国家公務員は、国の仕事ということで、予算・許認可など民間では絶対にできない業務・経験がたくさん得られます。一度しかない人生です、たくさんの経験ができるのは素晴らしいことだと思います。
民間から国家公務員への転職というのはなかなか馴染みがないかも知れませんが、総務省では多くの経験者採用者が活躍していますし、そういった意味では中途入省でも溶け込み易い職場環境だと思います。みなさんの民間経験や発想を生かしつつ、貴重な経験が出来る場だと思いますので、是非応募してみてください。

Profile:

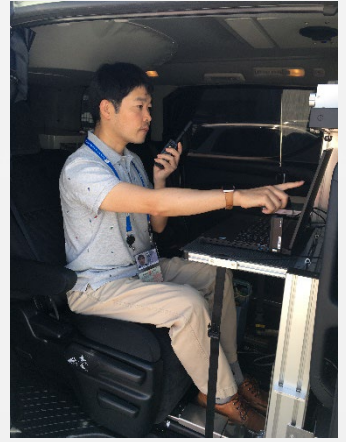
地方放送局勤務を経て、令和2年4月1日に信越総合通信局無線通信部電波利用企画課に配属、令和4年4月1日より現職。

採用試験の感想を合格者視点で教えてください

経験者採用ということもあり論文と面接が重視されているように感じました。ただ、基礎能力試験で基準点未満ですと先に進めないのが最低限乗り越える必要はあります。3次試験の総合評価面接試験は1日で2、30分の面接を複数回受けることとなります。係長級としての採用ですので部下との関わり方を問われたのが印象に残っています。今までの職務を振り返ってしっかり整理しておくの良いかと思います。

転職を目指す方へのメッセージ

私は2回不合格となり3回目で合格、採用となりました。1度不合格となったからといって諦める必要はありません。複数回受験することを理由に拒否されることはありません。むしろ顔を覚えていただいていた。（実話）総合通信局はどの部署に配属されたとしても何かしら情報通信に係わっていますので、情報通信に興味がある方は楽しく仕事をやっていけるかと思えます。また、条件を満たし、選抜されれば南極遠征に行くチャンスもあります。ふと転職を思い立った方、ぜひ挑戦してみてください。



Profile:

前職はケーブルテレビ局の技術職として勤務。上の写真はG7広島サミットにおける特別電波監視業務中の様子。



4 試験スケジュール等

○ 試験スケジュール

標準的な試験スケジュールについては以下のとおりです。毎年度の試験情報は、確定次第、人事院ホームページ「国家公務員採用情報NAVI」に掲載いたします。

試験の申し込み

(7月下旬～8月上旬)

一次試験

(10月上旬)

二次試験

(11月上旬)

三次試験

(12月上旬)

最終合格

(12月下旬)

・人事院ホームページ「国家公務員採用情報NAVI」にて、
申込みを受け付けています。

- ・基礎能力試験(多肢選択式)
- ・一般論文試験(記述式)
- ・経験論文試験(記述式)

・人物試験
人柄、対人能力などについての個別面接を実施します。

・総合評価面接試験
対象となる官職に必要とされる適性についての個別面接を実施します。

最終合格後、原則として翌年の4月1日に採用となります。

※一次～三次試験は、東京都内で実施いたします。(原則として土日を実施いたします。)

※各試験の実施時期は、令和4年度試験の実績を記載しています。

(年度により変動する場合がございますので、「国家公務員採用NAVI」をご確認ください。)